

平成 30 年 5 月 18 日

福島地方環境事務所の最近の動き
(今週の福島)

【最近の動きのポイント】

○ 除染・廃棄物対策関連

- ・双葉町及び大熊町の特定復興再生拠点区域について、建物等解体撤去及び除染工事を実施中
- ・浪江町仮設焼却施設における広域処理の実施について発表 (5/15)

○ 中間貯蔵施設関連

- ・4 月末時点で 904ha の用地を取得し、取得面積が民有地面積の 7 割を超過
- ・21 市町村から平成 30 年度の輸送を実施中

○ リスクコミュニケーション等関連

- ・檜葉町において、町行政区と学生ボランティアが実施する田植えイベント等を支援 (5/12, 13)
- ・「第 13 回ロハスデザイン大賞 2018 新宿御苑展」において、福島環境回復の状況や復興への取組を伝えるブースを出展 (5/19, 20)

I. 除染・廃棄物対策関連

1 特定復興再生拠点区域の解体・除染について

帰還困難区域内における特定復興再生拠点区域について、各町村の策定した計画に基づき、家屋解体・除染等を実施。

○ 最近の動き

- ・ 双葉町及び大熊町について、建物等解体撤去及び除染工事を実施中
詳細は別添 1、3 のとおり

2 避難指示解除済み地域等の除染・廃棄物処理関連事業について

帰還困難区域を除き、3 月に 8 県 100 市町村のすべてで面的除染が完了、必要なフォローアップ等を実施。

各市町村において、必要な被災家屋等の解体等の廃棄物処理を実施。

仮置場で除去土壌・廃棄物等を保管。搬出が終わった仮置場については、順次、返地に向けた作業を実施。

○ 最近の動き

- ・ 浪江町仮設焼却施設における広域処理の実施について発表（5/15）
浪江町仮設焼却施設の余力を活用して、富岡町及び双葉町で発生する可燃性廃棄物の広域処理を実施。
- ・ 除染関係ガイドラインの改定（平成 30 年 3 月）を踏まえ、除染特別地域において、仮置場の原状回復を実施する上での具体的な施工方法や手続き等について示す、現場手順書を策定。

<http://josen.env.go.jp/material>

- 除染事業及び被災家屋等の解体等の実施状況（除染特別地域、汚染廃棄物対策地域）
別添 1 のとおり

- 特定廃棄物埋立処分施設への搬入状況
別添 4 のとおり

Ⅱ. 中間貯蔵施設関連

中間貯蔵施設の整備及び除去土壌等の中間貯蔵施設への搬入を実施。

(1) 最近の動き

- 4月末時点で904haの用地を取得し、取得面積が民有地面積の7割を超過
- 21市町村から平成30年度の輸送を実施中

(2) 平成30年度の進捗状況

- 除去土壌等の輸送

(5月15日までの搬入実績)

搬出市町村		搬出可能量 (m ³)	学校等(現場保管) からの輸送予定量 (m ³)	搬入量(m ³)※
浜通り	いわき市	22,200	7,800	2,080
	相馬市	16,100	－	－
	南相馬市	113,200	－	－
	広野町	31,900	－	－
	檜葉町	72,400	－	11,606
	富岡町	162,400	－	4,213
	川内村	42,400	－	308
	大熊町	147,000	－	6,650
	双葉町	132,700	－	2,996
	浪江町	130,300	－	2,590
	葛尾村	71,400	－	－
	飯館村	151,600	－	1,208
中通り	福島市	78,700	20,000	1,790
	郡山市	67,200	20,900	12,220
	白河市	33,800	100	2,861
	須賀川市	22,000	3,600	3,751
	二本松市	50,000	－	2,169
	田村市	47,800	300	144
	伊達市	62,600	6,000	1,057
	本宮市	20,600	－	2,020
	桑折町	19,200	－	－
	国見町	16,300	－	2,062
	川俣町	71,600	－	4,104
	大玉村	13,700	－	1,232
	鏡石町	0	300	－
	天栄村	16,100	－	－

	西郷村	54,900	-	619
	泉崎村	15,200	-	3,055
	中島村	6,400	-	3,276
	矢吹町	13,900	-	-
	三春町	24,400	-	-
	合計	1,728,000	59,000	72,011

※ フレキシブルコンテナ等 1 袋の体積を 1 m³と換算しています。

※ 平成 30 年度の 1 年間の輸送量は、180 万 m³程度。

- 中間貯蔵施設及び周辺の空間線量率等
こちらから御確認ください(中間貯蔵施設及び周辺モニタリング(JESCO サイト))
<http://www.jesconet.co.jp/interim/operation/monitoring.html#hokanba>
- 中間貯蔵施設に係る工事等について
工事等の一覧は別添 2 のとおり

Ⅲ. 放射線健康リスクコミュニケーション等関連

①自治体職員や相談員等の活動の支援、②住民の放射線に関する理解醸成の支援、③環境再生等に関する情報発信等の活動を実施中。

(1) 最近の動き

- ・ 営農再開 3 年目を迎えた檜葉町の地域活性化に向けた取り組みの一環として、町行政区と学生ボランティアが実施する田植えイベント等を支援 (5/12, 13)
別添 5 のとおり
- ・ 「第 13 回ロハスデザイン大賞 2018 新宿御苑展」*において、福島の実環境回復の状況や復興への取組を伝えるブースを出展 (5/19, 20)
*<http://www.lohasclub.jp/lda2018/shinjuku/>
別添 6 のとおり
- ・ 富岡町 (5/23～26) において、ホールボディ・カウンタによる内部被ばく線量測定を実施
- ・ 平成 30 年度「ガンマカメラを使用した除染に関するリスクコミュニケーション事業」を開始。180 台・日の撮影予定。
- ・ 環境再生プラザにおいて専門家派遣・モニタリング支援(説明・測定・資料作成支援)等を実施中

(2) 前年度までの実施状況

項 目		H29 年度実績 (H28 年度実績)
① 自治体職員や相談員等の活動の支援	(ア) 職員向け研修会 	77 回 (52 回)
	(イ) 専門家派遣 	47 回 (41 回)
②住民の放射線に関する理解醸成の支援	(ア) 住民セミナー 	72 回 (27 回)
	(イ) 車座意見交換会 	62 回 (24 回)
	(ウ) 個人線量測定の実施 (WBC) 	83 日 (8 日)
	(エ) リスクコミュニケーション拠点 (長崎大、弘前大) による活動	-
	(オ) ガンマカメラを活用した除染に関する リスクコミュニケーション支援事業	184 台・日 (186 台・日)
③環境再生等に関する情報発信	(ア) 環境再生プラザの移動展示	42 件 [55 日] (78 件 [92 日])
	(イ) 環境再生プラザの専門家派遣	142 件 (208 件)

(ウ) テレビ

- ・「なすびのギモン Part5」(全 8 回) を放送
※Part1 から Part4 も含め、以下のホームページから視聴できます。
<http://josen.env.go.jp/nasubinogimon/movie/>

- ・特別番組「いのち、つなぐ 檜葉町・木戸川の今」を放送

(エ) ラジオ

- ・「福島再生へのみち」(全 26 回 (FM局 13 回、AM局 13 回)) を放送
※以下のホームページから視聴できます。

FM局 http://josen.env.go.jp/plaza/radio_streaming/

AM局 http://www.rfc.jp/podcast/podcast_program.php?program_id=29

(オ) まんが

- ・まんが「なすびのギモン」のシリーズ第 4 作「環境再生のあゆみ」編を作成

※これまでの3作（「身の回りの放射性物質」編、「健康影響」編、「食品」編）も含め、以下のホームページから読むことができます。

<http://josen.env.go.jp/nasubinogimon/index.html#indexManga>

(カ) イベント

- ・「くるまざカフェ」および「ふくしま“みち”さがし」を実施

※除染や福島環境再生に取り組む様々な方々と情報交換を行い、経験を共有する体験型のイベント（くるまざカフェ）と本イベントの参加者・関係者も交えたシンポジウム（ふくしま“みち”さがし）です。

<http://josen.env.go.jp/plaza/about/communication/kurumaza/>

(キ) 環境再生プラザの企画展示

- ・「福島環境再生事務所の職員等による『作品展』（H29.2～7）」、「除染と地域交流（H29.7～H29.12）」、「木戸川流域の環境回復（H29.12～H30.3）」を実施。

3月27日より「ふくしま“みち”さがし」をテーマに実施中。

http://josen.env.go.jp/plaza/about/exhibition_180327.html

除染事業及び被災家屋等の解体等の実施状況
(除染特別地域、汚染廃棄物対策地域)

市町村	工事状況等
南相馬市	○平成 29 年度南相馬市環境復旧等工事 (H30/3/5～) ※除染等工事の作業員数 380 人 ○平成 29 年度南相馬市建物解体等撤去工事 (H29/6/14～) ※被災家屋等の解体撤去工事实施中 (2,639 件解体済/2,845 件受付済)
浪江町	○平成 29 年度浪江町仮置場原状回復工事 (その 1) (H29/9/28～) ○平成 29 年度 (平成 28 年度繰越) 浪江町フォローアップ除染等工事 (H29/10/27～) ※除染等工事の作業員数 200 人 ○平成 29 年度浪江町建物解体等撤去工事 (H30/3/22～) ※被災家屋等の解体撤去工事实施中 (1,876 件解体済/3,778 件受付済)
双葉町	<u>○平成 29 年度双葉町特定復興再生拠点区域被災建物等解体撤去等及び除染等工事 (その 1) (H29/12/25～)</u> <u>○平成 29 年度双葉町特定復興再生拠点区域被災建物等解体撤去等及び除染等工事 (その 2) (H30/2/13～)</u> ※除染等工事の作業員数 150 人 ○平成 29 年度双葉町建物解体等撤去工事 (その 2) (H30/4/16～) ※被災家屋等の解体撤去申請を受付中 (262 件受付済。うち拠点区域 237 件) であり、解体撤去工事实施中 (21 件解体済。うち拠点区域 0 件)
大熊町	○平成 29 年度大熊町仮置場復旧等工事 (H29/11/22～) <u>○平成 29 年度大熊町特定復興再生拠点区域被災建物等解体撤去等及び除染等工事 (その 1) (H30/3/9～)</u> ※除染等工事の作業員数 170 人 ※被災家屋等の解体撤去申請を受付中 (479 件受付済。うち拠点区域 391 件) であり、解体撤去工事实施中 (162 件解体済。うち拠点区域 85 件)

(注) 下線は特定復興再生拠点区域に係る解体・除染工事

市町村	工事状況等
富岡町	○平成 29 年度(平成 28 年度繰越)富岡町除染等工事(夜の森地区他) (H29/6/20～) ○平成 29 年度(平成 28 年度繰越)富岡町フォローアップ除染等工事 (H29/10/6～) ※除染等工事の作業員数 400 人 ○平成 29 年度富岡町建物解体等撤去工事(その 2)(H30/3/7～) ※被災家屋等の解体撤去申請を受付中(2,946 件受付済。うち拠点区域 166 件)であり、解体撤去工事实施中(2,170 件解体済。うち拠点区域 124 件)
檜葉町	○平成 29 年度檜葉町仮置場復旧等工事(H29/5/27～) ※除染等工事の作業員数 90 人 ※被災家屋等の解体撤去工事实施中(1,428 件解体済/1,577 件受付済)
飯舘村	○平成 30 年度(平成 29 年度繰越)飯舘村仮置場復旧等工事(H30/4/10～) ※除染等工事の作業員数 110 人 ※被災家屋等の解体撤去工事实施中(993 件解体済/1,407 件受付済)
川俣町	○平成 29 年度川俣町可燃物処理等整備工事(H29/8/9～) ※除染等工事の作業員数 110 人 ※被災家屋等の解体撤去工事实施中(382 解体済/392 件受付済)
葛尾村	○平成 29 年度葛尾村建物解体等撤去工事(H29/11/30～) ※被災家屋等の解体撤去工事实施中(359 解体済/371 件受付済)

※除染等工事の作業員数 合計 1,600 人

(注) 下線は特定復興再生拠点区域に係る解体・除染工事

中間貯蔵施設に係る工事等の一覧

	工事名
土壌貯蔵施設等	○平成 28 年度中間貯蔵施設の土壌貯蔵施設等工事（双葉町） （H28/6/14～） ※H28. 11 月に着工、H29. 12 月貯蔵開始
	○平成 28 年度中間貯蔵施設の土壌貯蔵施設等工事（大熊町） （H28/6/14～） ※H28. 11 月に着工、H29. 10 月貯蔵開始
	○平成 29 年度中間貯蔵（双葉 1 工区）土壌貯蔵施設等工事 （H29/5/11～） ※H29. 10 月に着工、今年度夏以降に貯蔵開始見込み
	○平成 29 年度中間貯蔵（双葉 2 工区）土壌貯蔵施設等工事 （H29/5/18～） ※H30. 1 月に着工、今年度冬以降に貯蔵開始見込み
	○平成 29 年度中間貯蔵（大熊 1 工区）土壌貯蔵施設等工事 （H29/5/11～） ※H29. 11 月に着工、今年度夏以降に貯蔵開始見込み
	○平成 29 年度中間貯蔵（大熊 2 工区）土壌貯蔵施設等工事 （H29/5/11～） ※H29. 9 月に着工、今年度夏以降に貯蔵開始見込み
	○平成 29 年度中間貯蔵（大熊 3 工区）土壌貯蔵施設等工事 （H29/5/18～） ※H29. 11 月に着工、今年度夏以降に貯蔵開始見込み
	○平成 30 年度中間貯蔵（双葉 3 工区）土壌貯蔵施設工事 （H30/4/6～） ※今年度中に着工予定
	○平成 30 年度中間貯蔵（大熊 4 工区）土壌貯蔵施設等工事 （H30/4/5～） ※今年度中に着工予定
	○平成 30 年度中間貯蔵（大熊 5 工区）土壌貯蔵施設等工事 （H30/4/10～） ※今年度中に着工予定

	工事名
廃棄物 関連施設	○平成 29 年度双葉町減容化施設（中間貯蔵施設）における廃棄物処理その 1 業務（H30/3/1～） ※今年度中に着工予定、平成 31 年度内に稼働予定
	○平成 29 年度双葉町減容化施設（中間貯蔵施設）における廃棄物処理その 2 業務（H30/3/1～） ※今年度中に着工予定、平成 31 年度内に稼働予定
	○平成 29 年度中間貯蔵（双葉工区）廃棄物貯蔵施設工事（H30/3/9～） ※今年度中に着工予定、平成 31 年度内に稼働予定
	○平成 29 年度中間貯蔵（大熊工区）廃棄物貯蔵施設工事（H30/3/8～） ※今年度中に着工予定、平成 31 年度内に稼働予定
その他 施設	○平成 29 年度中間貯蔵に係る保管場設置等工事（双葉町）（H29/5/18～）
	○平成 29 年度中間貯蔵に係る保管場設置等工事（大熊町）（H29/5/18～）
	○平成 29 年度中間貯蔵に係る焼却灰保管場設置等工事（大熊町・双葉町）（H29/12/23～）
	○平成 29 年度保管場等整備工事（大熊町・双葉町）（H30/1/19～）

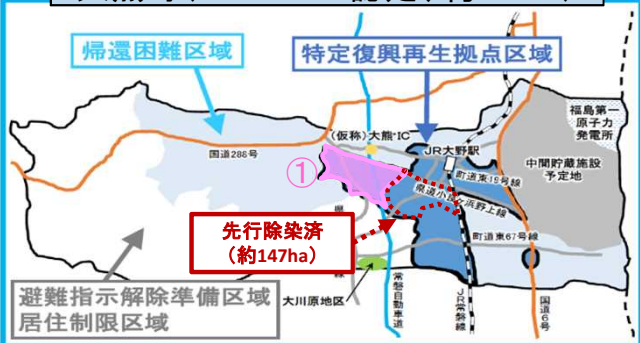
特定復興再生拠点区域整備の状況(2018年5月18日時点)

別添 3

葛尾村(2018.5.11認定、約95ha)



大熊町(2017.11.10認定、約860ha)



【工事状況】

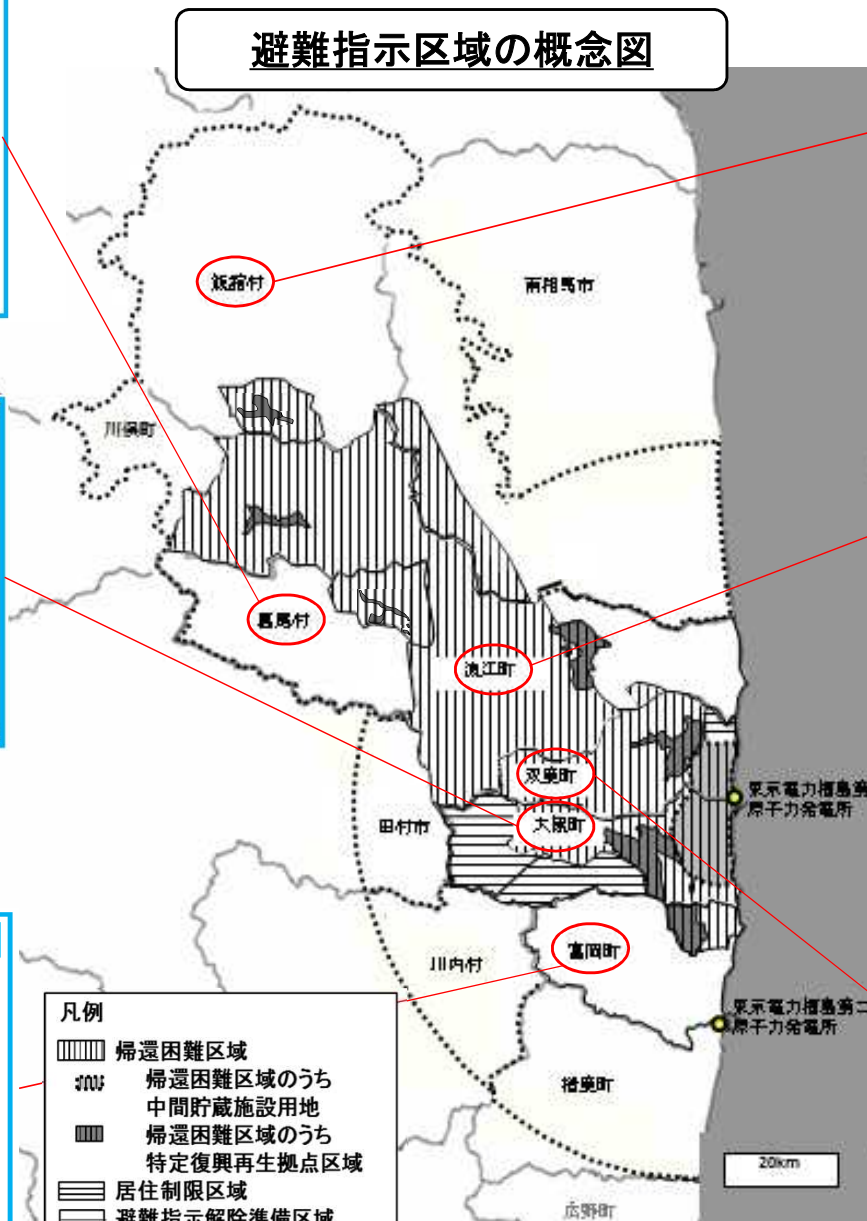
①下野上地区の西エリアを中心とした解体・除染工事(解体460件、除染約160ha): 3月9日着工

富岡町(2018.3.9認定、約390ha)



【工事状況】解体・除染工事について調整中

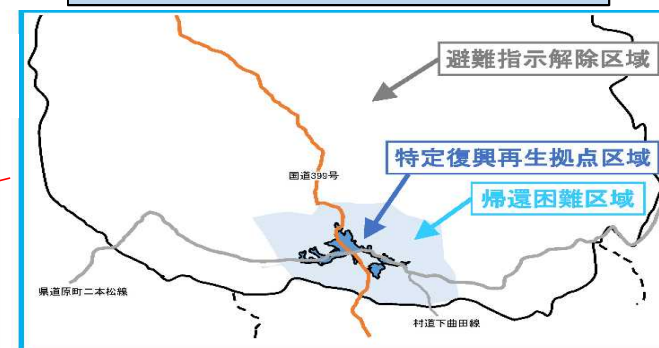
避難指示区域の概念図



凡例

	帰還困難区域
	帰還困難区域のうち 中間貯蔵施設用地
	帰還困難区域のうち 特定復興再生拠点区域
	居住制限区域
	避難指示解除準備区域
	旧避難指示区域 (2017年春までに解除された区域)

飯舘村(2018.4.20認定、約186ha)



浪江町(2017.12.22認定、約660ha)



【工事状況】

①3地区における解体・除染工事: 5月頃着工予定

双葉町(2017.9.15認定、約560ha)



【工事状況】

①復興シンボル軸解体・除染工事(解体55件、除染7ha): 12月25日着工
②駅東等解体・除染工事(解体640件、除染約90ha): 2月13日着工

特定廃棄物埋立処分施設への搬入状況

平成 30 年 5 月 18 日

【最新の進捗状況】

搬入量（袋数）		
期間	実績（袋）	累計
5/9～5/15	1,213	18,568

※搬入は平日のみ実施しています。

※搬入量（袋数）は天候や調整状況により変動します。

【これまでの進捗状況】

搬入量（袋数）		
期間	実績（袋）	累計
平成 29 年 11 月	707	707
平成 29 年 12 月	2,746	3,453
平成 30 年 1 月	1,866	5,319
平成 30 年 2 月	2,523	7,842
平成 30 年 3 月	4,060	11,902
平成 30 年 4 月	4,965	16,867
平成 30 年 5 月（15 日まで）	1,701	18,568

搬入状況や環境モニタリング結果など、特定廃棄物埋立処分事業の進捗状況については、ホームページにて公表しています。

http://shiteihaiki.env.go.jp/tokuteihaiki_umetate_fukushima/progress/

平成30年度 檜葉町 大谷行政区 第1回「心の復興」事業 若者と進める滞在型・体験型ボランティア 実施報告

別添5

5月12日,13日 檜葉町大谷行政区にて地元農家と都内学生ボランティアによる田植えが開催されました。

環境省は、福島県檜葉町の地域活性化に向けた取り組みの一環として、町行政区と学生ボランティアが実施する田植えイベントを支援しました。本地域活性化事業は、町の方々と町外の方々ととのつながりの機会づくりと「檜葉町の今」を町内外の多くの方々に知っていただくことを目的として、年間を通じて実施しています。

当日、参加した学生には、田植え、民泊を通じて、地元農家の方々との交流を深めていただくとともに、檜葉町における特定廃棄物埋立処分事業などの復興関連事業の状況についても触れていただきました。

- 実施日：2018年5月12日(土),13日(日)
- 学生ボランティア参加者：11名(法政大,東農大,明星大)
- 実施主体：檜葉町 大谷行政区 / 実施支援：環境省

当日の様子





「つなげよう、支えよう 森里川海」福島プロジェクト ～環境省～

in 第13回ロハスデザイン大賞 2018 新宿御苑展

5月19日（土）、20日（日）9:00～16:00

会場：新宿御苑 イギリス風景式庭園内

4つのブースで取組を紹介します。

- ・帰還から未来創生へ
- ・里をつなぐ
- ・森をいかす
- ・つなげよう、支えよう森里川海



桑畑：二本松東和地区

「一陽来復」ユンミア監督ミニトークショー
5月20日（日）午前11:30—12:00
午後1:30—2:00



～2011年3月11日 原発事故によって甚大な被害を受けた福島県

「全部測った（放射線量）。おら農業だから。農業は農業でしか生きていくしかないし。

生業だから自分で調べようと思って。」 映画「一陽来復」川内村の農家 秋元美誉さんの言葉～

モリアオガエル



川内村：平伏沼



モリアオガエルの卵



～協力～

福島県有機農業ネットワーク

ゆうきの里東和

川内村商工会

元気になろう福島

福島県木材協同組合連合会

平成プロジェクト



～お問い合わせ～

環境省 大臣官房

環境保健部

参事官 前田光哉

係長 熊倉容子

電話 03-5521-9248

※「第13回ロハスデザイン大賞 2018 新宿御苑展」についてはLOHASclubのホームページを参照ください。

<http://www.lohasclub.jp/lda2018/shinjuku/>